

目 次

序	郭 南燕	5
<研究発表>		
留学生の日本語による文学創作の意味を考える ——「留学生文学賞」の設立と発展を通して	栖原 暁	9
日本語作家は日本語をいかに異化し、多様化しているのか ——リービ英雄のケース・スタディ	牧野成一	21
楊逸の文学におけるハイブリッド性	谷口幸代	49
日本語日本文化によって広がる想像力と創造性	郭 南燕	63
<作家座談会>		
田原、シリン・ネザマフィ、ボヤンヒシグ、楊天曦		83
<総合討論>		
ジェフリー・アングルス、伊藤守幸、稲賀繁美、鈴木貞美、 トゥンマン武井典子、中川成美、細川周平		105
シンポジウム「日本語で書く」への結びにかえて	稲賀繁美	129
附 録		
シンポジウムのプログラム		139
シンポジウム関連記事		141
『留学生文学賞委員会報告』（抄）		154
参加者		